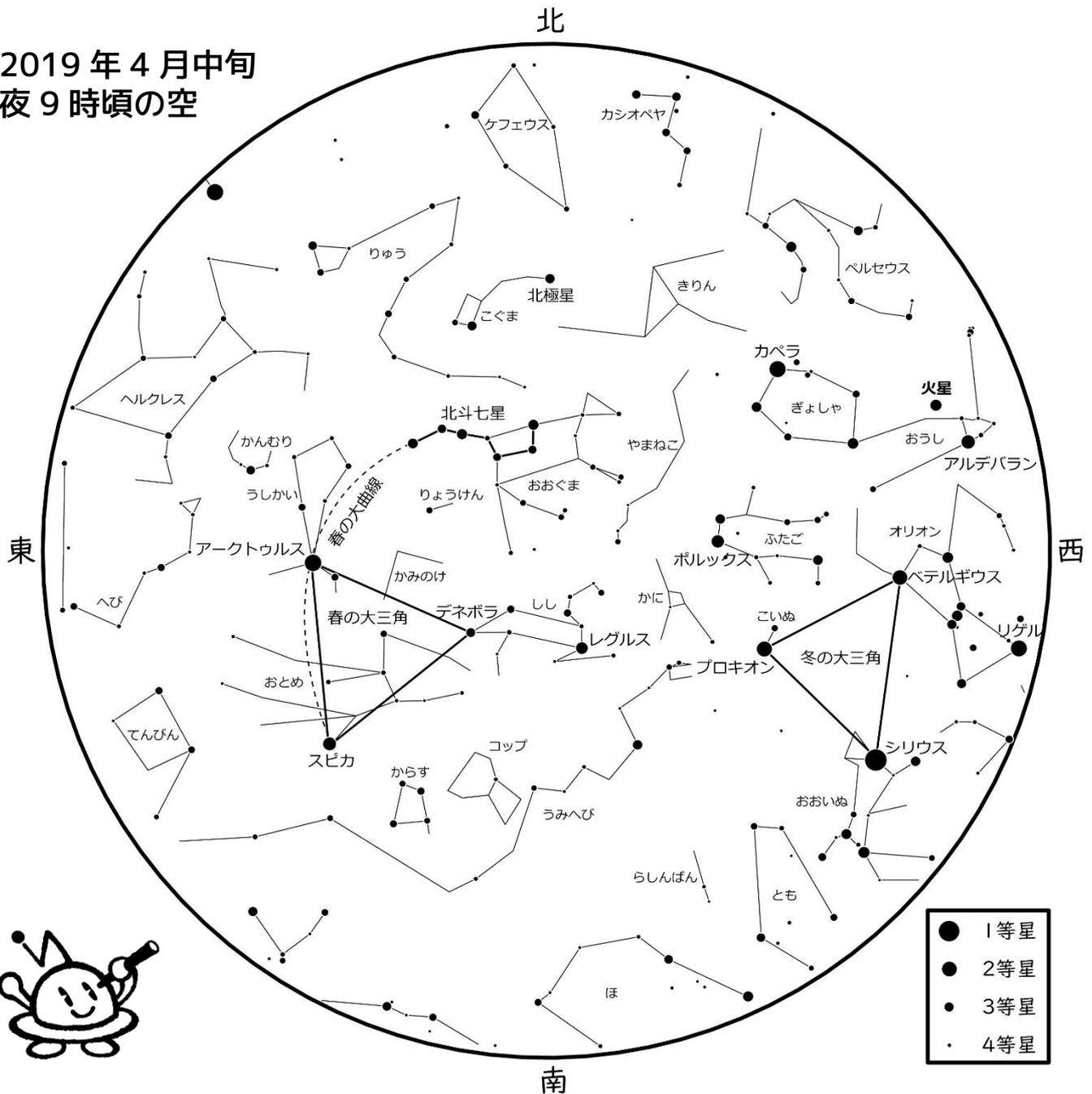


阿南市科学センター 4月の星空案内

2019年4月中旬
夜9時頃の空



桜が咲きポカポカと暖かい4月になりました。夜空にはしし座の**レグルス**、うしかい座の**アークトゥルス**、おとめ座の**スピカ**といった春の明るい星々が並び、星空からも季節の変化を感じることができます。空高いところには**北斗七星**が見え、その形はよく柄杓(ひしゃく)に例えられています。この柄杓の部分、弧を描くようにのばしていけば、アークトゥルスやスピカをたどることができ、これを**春の大曲線**とも呼んでいます。さらに春の大曲線を延長すれば、4つの星が台形型にならな**からす座**も見つけることができます。からす座を作る星たちは約3等星と暗いですが、空の程よい高さで小さくまとまって見えるため、意外に目立つ星座です。なおアークトゥルスとスピカに加え、しし座の尾のあたりで輝く**デネボラ**(2等星)という星をつなぐと、**春の大三角**を形作ることもできます。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

◇ 月の満ち欠けと惑星について

名称	新月	上弦の月	満月	下弦の月
形状				
見える日	4月5日	4月13日	4月19日	4月27日

名称	水星	金星	火星	木星	土星
見どころ	4月12日に西方最大離隔。明け方、東の低空で見える。	明け方、東の低空で見える(明けの明星)。	日没後に西の空で見える(おうし座)。	深夜に南東の空(へびつかい座)で見える。	深夜に木星が昇ったあと、南東の空(いて座)で見える。
明るさ	約0等	約-4等	約1.5等	約-2等	約0等

◇ おすすめ天体 【春の二重星コル・カロリとアルギエバ】

二重星とは、肉眼で見たときは1つの星にしか見えないものが、望遠鏡で拡大してみると二つの星が仲良く並んで見える天体のことを指します。春には代表的な二重星として、りょうけん座のコル・カロリやしし座のアルギエバが観察しやすく、科学センターの天体観望会でもご案内しています。

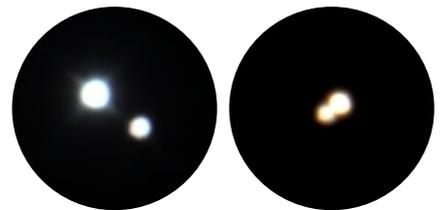


図1: (左)コル・カロリ, (右)アルギエバ

◇ 春の流星群たち ~君はいくつ見えるかな?~

【4月こと座流星群】

ピーク時は1時間に数個の流星が見えます。今年の出現のピークは4月23日の午前9時ごろ(日本時間)と予想されています。観察は22日の深夜24時(23日0時)過ぎから明け方にかけて行くと良いでしょう。ただし、22日の晩は23時前に月が昇るため、観察条件はあまり良くありません。

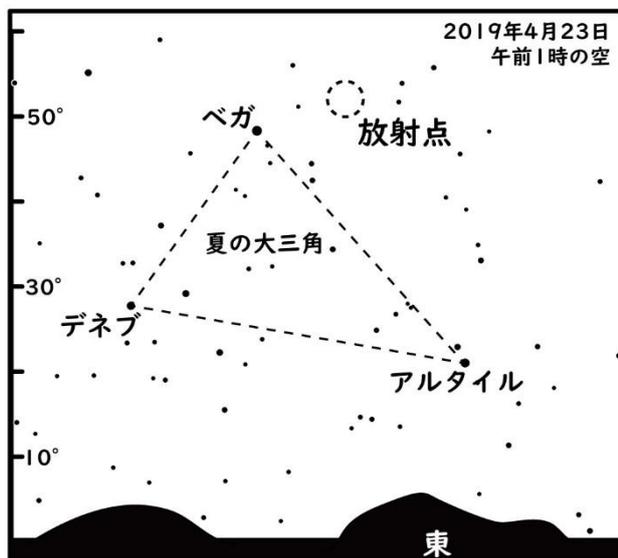


図2: 4月こと座流星群の放射点の位置

【みずがめ座エータ流星群】

ピーク時は1時間に約10個程度の流星が見ます。今年の出現のピークは5月6日の23時ごろ(日本時間)と予想されています。観察は6日の23時から明け方にかけて行くと良いでしょう。月明かりがなく、条件としては最良です。なおこの流星群の母天体はハレー彗星だと考えられています。

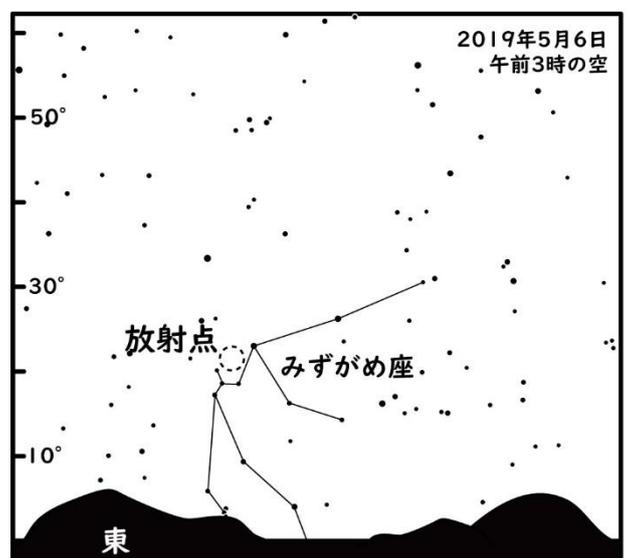


図3: みずがめエータ座流星群の放射点の位置